29 01 02 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	車両管理事業	担当課	総務防災課	担当係	庁舎管理係	管理番号	2902
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令個別計画等	道路交通法、深谷市自動車管理規程				
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	・共用車（１３台）、塵芥車（１台）、緊急用車両（３台）の管理を行い、定期点検等をすることで事故防止を目指すものである。
目的 ※何のために	市民及び職員の安全確保のため
対象 ※誰・何を対象に	共用車（１３台）、塵芥車（１台）、緊急用車両（３台）
手段 ※どのように	・車両の定期点検等　・バス借上げ業務　・安全運転管理者にかかる事務
成果 ※何を求めるか	適切な車両管理及びバス借上げ業務を行う。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	車両管理事務費	3,548,791
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 共用車両の維持管理	・
・ 安全運転管理者に関する事務の対応	・
・ バス借上げ業務	・
・ 共用車両の貸出管理	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画					共用車両の増加 新庁舎への移転		
事業費	予算（現額）	4,723,000	5,551,000	16,026,000	6,283,000	16,466,000	4,953,000
	決算額	4,161,098	4,827,219	11,874,103	3,548,791	0	0
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,161,098	4,827,219	11,874,103	3,548,791	16,466,000	4,953,000
人件費	従事職員数（人）	1.84	1.89	1.19	1.21	1.26	1.26
	人件費相当試算 ※１	14,313,360	14,707,980	9,354,590	9,844,560	10,251,360	10,251,360
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		18,474,458	19,535,199	21,228,693	13,393,351	26,717,360	15,204,360

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	バスの借上げ件数	目標値	件	0.00	0.00	105.00	141.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	127.00	6.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各課にて事前に確認した運行予定件数を目標値としている。							
		バスを借上げた事業数									
■	活動指標２	正・副安全運転管理者研修会への参加	目標値	人	8.00	8.00	9.00	9.00	0.00	0.00	□
			実績値		8.00	8.00	9.00	9.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		正・副安全運転管理者全員の受講を目標値としている。							
		研修会参加者数									
□	成果指標１	業務に支障をきたしたトラブルの件数	目標値	件							■
			実績値		0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		トラブルを発生させないことが適正なため、目標値は０件としている。							
		トラブルの発生した実績									
□	成果指標２	共用車稼働率	目標値	%							■
			実績値		58.28	96.59	73.28	88.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		共用車の利用は、各課の業務状況に応じて変動するため、目標設定は行わない。							
		公開羅針盤内の予約日数									
□	成果指標３	共用車台数 総務防災課管理の共用の台数	目標値	台							■
			実績値		11.00	13.00	14.00	13.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		共用車台数は、庁内の車両の利用状況に基づき配車されるため、目標設定は行わない。							
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 ・市事業におけるバス借上げについては、新型コロナウイルス感染症の影響により運行数が激減したが、実施した運行については事業に適した車両による安全かつ効率的な運航が図れた。 ・正副安全運転管理者の研修会へ全員が参加することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 ・全ての共用車について、法令等に基づいた適正な管理を行うことができた。 ・バスの借り上げや共用車の運行について、業務に支障を及ぼすトラブル等の発生はなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　庁舎管理係長　羽二生　直之

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	・財政面で厳しい状況が続くが、引き続き経済的かつ安全な公用車走行の励行を促し、事務の効率性を高める。 ・バスの効率的かつ経済的な借上げ方法を検討していく必要がある。
達成状況 及び その効果	・共用車については高い稼働率を保持しているが、車両全体の管理費は大きく変動しておらず効率的な運用が行われている。 ・市事業におけるバス運行借上げについては、新型コロナウイルスの影響により、大多数の事業が中止となったため借上げ数が激減したが、運行を必要とする業務については迅速かつ効率的な配車を行うことができた。

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	車両管理事業	担当課	総務防災課	担当係	庁舎管理係	管理番号	2902

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
■ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

共用車については、貸出・点検・安全運転の啓発等適切な管理運用ができ、新庁舎移転における管理方法の見直しを円滑に実施した点については評価できる。
今後車両の集約化がより一層図られた場合に備え、全体的な管理方法の見直しに取り組んでいく。
また、バスについては、業務委託化により持続性および安定性が確保できており、引き続き事務の効率化を一層図っていく。

評価者	総務防災課長　菅原　孝一

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

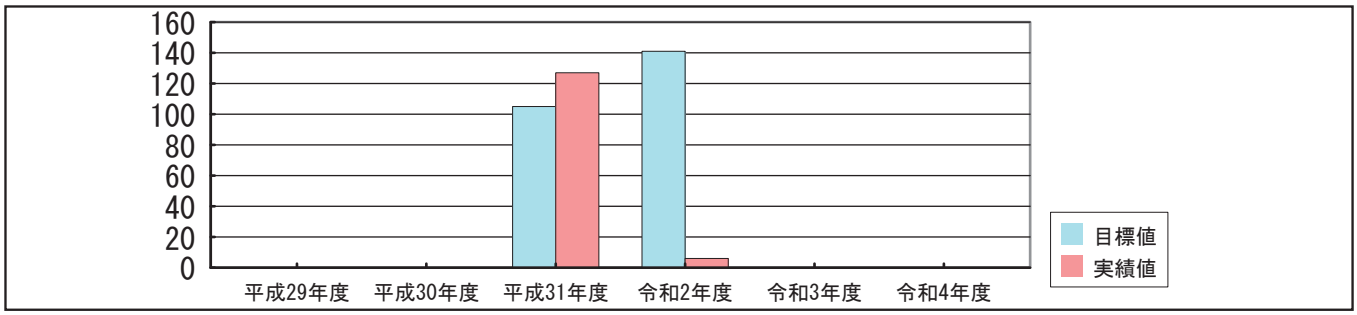
改善・改革案	・財政面で厳しい状況が続くが、引き続き経済的かつ安全な公用車走行の励行を促し、事務の効率性を高める。 ・バスの効率的かつ経済的な借上げ方法を検討していく必要がある。

8．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

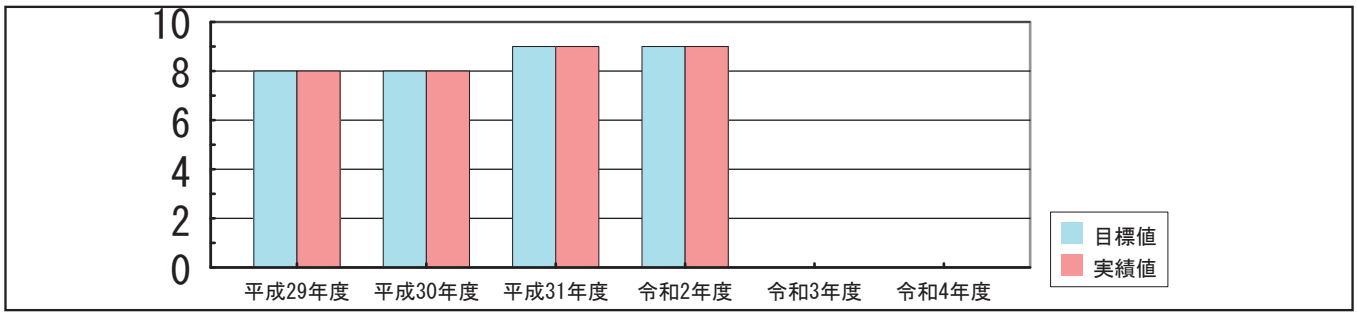
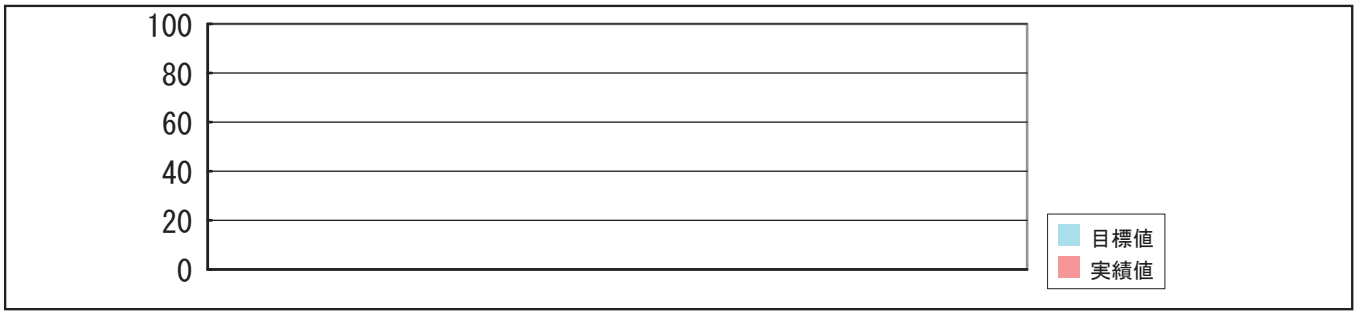
今後の課題	・より一層公用車の共用車への集約化が進んだ場合に備えて、貸出等の運用方法及び日常・定期点検等の管理方法の見直しを検討する必要がある。 ・安全運転の啓発等に努め、全庁的な事故防止に努める取り組みを推進する必要がある。 ・市事業におけるバスの借上運行について、市として最も経済的かつ効率的な事務の執行方法を確立するため、委託方法及び予算措置等の改善を検討する必要がある。

9．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	バスの借上げ件数



区分	活動指標２	指標名	正・副安全運転管理者研修会への参加



区分		指標名